タイトル：色彩学会誌論文投稿ひな形

English Title：Template of manuscript for the journal of CSAJ

色彩花子1)，学会太郎1)，編集次郎2)

1）色彩大学色彩工学部

2）色彩大学大学院色彩工学研究科

Hanako Shikisai1)，Taro Gakkai1)，Jiro Hennshuu2)

1）Faculty of Color Science, Shikisai University

2）Graduate School of Color Science, Shikisai University

和文抄録（400字程度）

アブストラクトは，本文の内容（目的・方法・結果など）を簡潔にまとめ，容易に理解できるように，平易な文章で書く．

キーワード：三刺激値，色知覚，等色，…（3語以上6語以内）

English abstract (around 200 words)

This is an abstract of ….

……..end.

Keywords： tristimulus values， color perception， color matching.

１．はじめに

　本文書は，日本色彩学会投稿論文原稿のひな形である．本文書はMicrosoft Wordで作成されており，執筆要領に沿ってレイアウトされているので，適宜書き換えるなどして利用されたい．

２．論文原稿の形式

２．１　提出原稿の体裁

　学会誌1ページの刷上りは，原則として横書き 1 行 24 字，1 段 44 行の 2 段組で，本文の書体（フォント）は明朝体である．提出原稿も，刷り上りページ数を見積もりやすいようA4 判用紙に横書き 1 行 24 字，44 行の 2 段組を原則とする．図や表は原稿中に埋め込んでも良い．この場合，刷り上がりのレイアウトを想定した原稿を作成し提出してもらえると，著者の意図が版下作製者に伝わりやすい．

　図や表を原稿中に埋め込まない場合は，原稿の図や表の参照箇所の近くにその挿入箇所を明記すること．図を本文中に埋め込む場合もそうでない場合も,別紙に図や表を添付し，合わせて図や表の番号と表題の一覧表を添付すること．

　図は，そのまま縮尺印刷できるように，鮮明なものを用意する．図や表の画像としての推奨解像度は，600 dpi 以上である．刷上りサイズは，原則として，左右幅 72 mm（1 段の幅）あるいは 153 mm（2 段にわたる場合）となる.

　電子記録媒体（CD, DVDなど）を用いて電子ファイルに より図や表を提出する場合は，必ずそれを紙媒体に印刷したものを合わせて提出すること．また，電子ファイルを解読するために必要な情報(画像やファイルのフォーマット, 必要なアプリーケーション等)を合わせて示すこと.

２．２　本文

　文章は，口語，現代仮名遣い，漢字仮名交じり文，常用漢字を用いる．句読点は，コンマ（，）とピリオド（．）を用いる．段落ごとに改行するものとし，段落始めの文頭は１字下げる．

　専門用語については，原則として，文部省学術用語集や，JIS Z8105（色に関する用語），JIS Z8120（光学用語）など，日本工業規格に規定されている用語に準拠すること．省略記法は，専門外の人にも分かるように，初出で完全つづり（や正式名称）を添えておくことが望ましい．国名・地名・人名などは原つづりまたは仮名書きとし，仮名書きの場合は初出で原つづりを添える．

（例） ．．．ICT（Information and Communication Technology, 情報通信技術の発展から，．．．

２．３　図および表

図や表には，図１○○○，表1△△△などと，それぞれに論文を通じての通し番号と表題を付ける．図や表の表題は，簡潔でかつその内容を十分に表すものとする．図や表は必ず本文中で参照する．

　図や表に，キャプション(説明書き)を付けても良い．図の番号・表題は図の下に，表の番号・表題は表の上に示す．本文が日本語であっても，「Fig.1 ◇◇◇」，「Figure 1 ◇◇◇」，「Table 1 ×××」などと，和文の後に，英文表記を併記しても良い．

　図や表を他の著作物から引用・転載する場合は，出典を図や表の下に明示し，必要に応じて原著作者または著作権所有者から使用許可を得ておく．

　（例）

表１　赤い岩絵具の測色値

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 | マンセル値 | CIEXYZ値 |
| 辰砂 | 3.0R 4.4/7.8 | (20.78, 14.72, 11.98) |
| 赤口本朱 | 4.3R 4.3/10.3 | (21.63, 13.78, 8.588) |
| 岩紅 | 7.1R 4.1/12.6 | (21.61, 12.64, 4.207) |
| 古代朱 | 4.2R 4.2/8.3 | (18.81, 12.88, 9.170) |

図１　赤い岩絵具の分光反射率

２．４　数と量，数式

　単位は，JIS Z8202（量記号，単位記号及び化学記号），JIS Z8203（国際単位系（SI）及びその使い方）に準拠すること．

（例）123.4，78.9 cd/m2．

　書体は，原則として，変数や変量などにはイタリック（斜体）を，定数や定量，単位記号にはローマン（立体）を用いる．

（例1）, , , , , , ．

（例2）60.5 kg，9.8 W.

　上付きや下付きの添え字は一段とし，多段の添え字をできるだけ避ける．

（避ける例） .

　分数式において，上下2行にわたる表記は避ける．ただし，そのほうが理解しやすいなど必然性がある場合は，この限りではない．

（例） ；　（避ける例）

　数式における括弧は，大，中，小の順に，それぞれ｛　｝，［　］，（　）とする．

（例）．

　弓括弧｛　｝は集合の，角括弧 [　] は行列やベクトルの外延的表現にも用いられる．行列やベクトルを表記する括弧に丸括弧を用いることは避ける．

（例1）

（例2）, , ．

　（行列要素の区切りのコンマ(，)は省略可．）

　数式の出現順に番号を丸括弧に入れて数式の右端に付す．文中ではこの番号で参照する．

（例1）関数 を次のように定義する： .　　　 (7)

（例2）関数 を，

　 (8)

　　　　により定義する．

（例3）式(9)を変形すれば，式(10)が得られる．

２．５　参考文献

　本文中で文献を参照する場合，参照箇所の直後あるいは文末に，参照番号を角括弧[ ]に入れて添える．参照番号は，本文における参照順の通し番号とする．

（例1） これまでの研究成果[1]によれば， ．．．

（例2）　．．．は，文献[2, p.123]による．

（例3）　．．．であることが知られている[3, 4など]．

　書誌情報の記述は，原則として科学技術情報流通技術 基準 SIST 02-2007 に準拠する．

２．６　脚注

　脚注は，該当箇所の右肩に1，2，などの注番号をつけ，原稿用紙下欄に，注番号とその内容を記載する．(刷上りでは，該当ページの下部に印刷される．)

(例) 本研究は ．．．を目的とする１．

(脚注の例) 1 本研究の一部は，xx学会で発表した．

４．その他

　挿入画像は，EPS, JPGまたはPNG形式で作成することを推奨する. （Bitmap形式は避ける. ）

参考文献

[1] Miura, Kumiko; Saito, Miho. Harmonious Color Model with Fragrances. Color Research and Application. 2012, vol.37, no.3, p.219-232．

[2] 大槻理恵，富永昌治，引間理恵. 光学特性に基づいた口紅塗布面の表面分光反射率の推定. 日本色彩学会誌. 2011, vol.35, no.4, p.287-298．

[3] 照明学会編．照明ハンドブック．第2版，オーム社，2003.

[4] Wyszecki, Günter; Stiles, W.S. Color Science: Concepts and Methods, Quantitative Data and Formulae. 2nd ed., John Wiley & Sons, 1982, 950p.

[5] 溝上陽子.“白色LED光源下における色の見え”．日本色彩学会第43回全国大会要旨集（日本色彩学会誌，vol.36, suppl.）．京都，2012-05-25/27，日本色彩学会，2012，p.10-11.

[6] JIS Z 8105:1982. 色に関する用語．日本規格協会．

[7] 科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方(SIST 02)．独立行政法人科学技術振興機構（JST）．http://sist-jst.jp/handbook/sist02\_2007/main.htm, (参照2012-05-19).

（別紙1）

謝辞

本研究はJSPS科研費00000000の助成を受けて行われました．

（別紙2）

著者紹介

顔写真（上半身）

写真掲載サイズ

H29mm×W23mm

推奨解像度600dpi

2008年, 東京美術大学大学院美術研究科修士課程修了．修士（美術）．日本色彩学会，日本心理学会, (社) 色材協会．

（別紙3）

図表一覧表

図１　赤い岩絵具の分光反射率

図2

…

表1　赤い岩絵具の測色値

…

（別紙4〜）

図表を1ページに1枚ずつ添付